

小岩菖蒲園

江戸川河川敷に広がる「小岩菖蒲園」は、地元の方から寄贈されたハナショウブをもとに、ゆっくりと鑑賞できるよう回遊式の庭園風に整備したもので、都内名所の一つとなっています。

〔小岩菖蒲園のあゆみ〕

昭和57年 6月 小岩菖蒲園開園
 昭和63年11月 利根川百景に選定
 平成 2年 6月 「ムジナモ発見の地」の記念碑建立

〔菖蒲園の規模〕

敷地面積: 19,251m²
 菖蒲田 ……………4,900m²
 湿生植物池 ……………2,200m²
 芝生広場・野草地等 ……12,151m²
 品種・花の数: 100種、50,000本

〔栽培されている品種〕

ごしょあそび おきつしらなみ げんじぼたる
 江戸系 「御所遊」「沖津白波」「源氏蛭」等48品種
 さくらしし いせまいこ かみじのほまれ
 伊勢系 「桜獅子」「伊勢舞子」「神路の誉」等9品種
 まいおうぎ あつぱれ なりひら
 肥後系 「舞扇」「天晴」「業平」等37品種
 その他 6品種

***** ハナショウブ 豆知識 *****

美しい花を楽しませてくれるハナショウブは、原種のノハナショウブを親として、300年以上の歳月をかけて1,000以上もの品種がつくり出されてきました。

江戸時代末期には盛んに栽培され、江戸を始め、伊勢松坂や肥後など各地で庭や鉢植えにして、その美しい姿を觀賞する独自の文化を生み出してきた花です。

植物分類：アヤメ科アヤメ属
 園芸分類：多年草
 原産地：日本、朝鮮半島、中国北部、シベリア
 花ことば：優しい心

アヤメ・カキツバタ・ハナショウブは？

ア ヤ メ	カキツバタ	ハナショウブ
5月上旬から咲き、葉は細く濃い緑色をしている。	5月中旬から咲き、葉は幅広く黄緑色をしている。	5月下旬から咲き、葉は主脈がはっきりしている。
		

来園のご案内

(電車ご利用の場合)

●京成電鉄「江戸川駅」より徒歩5分

(バスご利用の場合)

- JR「小岩駅」より京成バス(新小52・四ツ木線)市川駅行き「小岩駅北口」乗車、「江戸川駅通り」下車、徒歩10分
- JR「小岩駅」より京成バス(小72・篠崎線)江戸川スポーツランド(または一之江駅、または瑞江駅)行き「小岩駅」乗車、「一里塚」下車、徒歩15分



小岩菖蒲園まつり期間中の土・日・曜日には、JR小岩駅南口⇄小岩菖蒲園で直通バスを運行します。
 今年も好評につき運行します。
 2016.5.29(土)～6.19(日) (土・日・曜日のみ運行)
 大人:(乗車) 220円 (小) 216円
 小児:(乗車) 110円 (小) 108円

(お車ご利用の場合)

- 千葉街道(千葉方面)市川橋のたもとを左折し、江戸川河川敷駐車場まで約400m
 ※季節及び天候によって利用時間の変更または閉鎖の場合あり。
- ◆河川敷には、スロープを設け、ベビーカー・車椅子のご利用も安心です。



(所在地)

江戸川区北小岩四丁目先(江戸川河川敷内)

(問い合わせ)

【公園管理について】
 土木部水とみどりの課みどりサービス第三係
 TEL 03-5662-0321

【イベントについて】

(公財)えどがわ環境財団事業係
 TEL 03-5662-5542

Koiwa Iris Garden

小岩菖蒲園



江戸川区

江戸川の流りに抱かれて、心和む小岩菖蒲園

ゆったりと流れる江戸川と緑濃い国府台の森を背景に、河川敷一面に咲き誇るハナショウブの花は、私たちの気持ちを和ませ、爽やかにしてくれます。

ここ小岩菖蒲園は、4月になるとツツジの色鮮やかな花が春の訪れを教えてください。5月の下旬、いよいよハナショウブの一番花の便りが届きます。6月になりアジサイも咲きそろそろ頃には、菖蒲園は100種、5万本の色とりどりの花におおわれ、一年で最も見事な時を迎えます。

やがて、夏の終わりとともに野草地では、秋の七草(ハギ、キキョウ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、ススキ)が秋の風情を醸し出してくれます。



▼ツツジ(4月)

▼アサザ(5月)

▼アジサイ(6月)

▼ヘメロカリス(6月~8月)

▼スイレン(6月~8月)

▼オミナエシ(9月)



菖蒲園まつり

例年6月に地元の町会・自治会、商店会、公園ボランティア等の協力のもと、「小岩菖蒲園まつり」を開催。園内では、軽食や草花・グッズ販売、菖蒲園ガイドが行われます。



豊かな心を育む自然とのふれあい

菖蒲園周辺の水際や草地には、たくさんの生き物が生息し、子どもたちの虫捕りや自然観察の場所になっています。

湿性植物池には、現在絶滅が心配されているミゾコウジュ、フジバカマ、アサザ等を見ることができます。



▲湿性植物池

▼ムジナモ碑

明治23年、植物学者・牧野富太郎博士によって、日本で初めて小岩菖蒲園付近で発見されたムジナモは、豊かな自然環境の象徴であり、国の天然記念物にも指定されました。
※数度の洪水で流出し、大正15年に解除。

